



記念交流会2023

2023年12月9日(土)に開催された、法人第10期記念交流会の様子をご紹介します。



〈プログラム〉

- 13:00～
 - 開会挨拶
 - 祝辞(動画) 公益社団法人 日本看護協会 会長 高橋 弘枝 様
 - 応援メッセージ Part1(スライド)
- 13:10頃
 - 記念講演 徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護リカレント教育センター
特任教授 山下 留理子 様
- 13:55頃
 - 私たちの歩み ～10年を振り返る～
 - ▶ 10周年の歩み(スライド)
 - ▶ レジェンドトーク(対談)
- 14:55～
 - 10分間休憩
- 15:05頃
 - 応援メッセージ Part2(スライド)
- 15:07頃
 - ワークショップ(交流会)
 - I部:協議会があつてよかった!感謝を語ろう(今までと今)
 - II部:魅力と未来を語ろう(これから)
- 15:53頃
 - 仲間へのエール(スライド)
 - 日本訪問看護財団よりご連絡 公益財団法人 日本訪問看護財団 研究員 山辺 智子
- 16:00
 - 閉会挨拶



協議会の成り立ち、活動の歴史。そして、私たち訪問看護、在宅ケア認定看護師の大先輩方の貴重なお話が聞けた交流会でした。ぜひHPをご覧ください。



お祝いメッセージ

● 関係団体の皆さまより頂きました

「住み慣れた家で自分の最期を迎えたい」「大切な家族の最期は自分で看取りたい」といった当然の希望が、現代社会では叶わないだけでなく、多額の医療費を国民が負担し8割の方が病院で最期を迎える現代は、大きな課題を抱えています。「訪問看護師」は、ご本人、ご家族、社会が抱えるこの課題を解決するための要となる「専門家」です。

そして、大切な親族の体調に戸惑うご家族に、勇気と安心をもたらす「精神的支柱」でもあり、同時に、医療や福祉の領域を超え組織や専門家と繋がる「地域資源の窓口」でもあります。

このような多様な役割を担う皆さまは、家族や地域、そして日本の行方を築いていく「未来の開拓者」となるに違いありません。この10周年の日が「来るべき未来の草創期であった」と振り返る時期が来ることを心から願っています。これからの期待と応援を込めて、10周年のお祝いといたします。

公益社団法人 日本財団
常務理事 吉倉 和宏

貴会は2014年に一般社団法人格を得て10年の節目を迎えられました。貴会の皆様のご活躍に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。

本財団は、全国に先駆けて2005年に訪問看護認定看護師教育課程を始め、2021年3月に閉講するまでに192人の修了者を送り出しました。2009年には訪問看護認定看護師のネットワーク構築のための組織化に尽力し、それ以来、事務局機能を担って来ました。

訪問看護認定看護師および在宅ケア認定看護師は、地域包括ケアを基盤とした共生社会の実現を牽引する、最もふさわしく、且つ不可欠な存在であり、貴会のますますのご発展を祈念いたします。

公益財団法人 日本訪問看護財団
理事長 田村 やよひ

一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会 法人第10期記念の交流会、誠におめでとうございます。

皆様の弛まぬご努力や、質の高い実践活動の積み重ねによって、大きな実が結ばれているのだと、敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。

これから更に進展する少子高齢社会の中で、地域の中での看護活動に大きな期待が寄せられています。皆さんの更なるご活躍をお祈りすると共に、全国訪問看護事業協会としても皆さんとの連携・協働を更に深めていきたいと思っております。

一緒に頑張っていきましょう。

一般社団法人 全国訪問看護事業協会
常務理事 中島 朋子 (在宅看護専門看護師・緩和ケア認定看護師)



● 認定看護師としての出発点 研修機関より頂きました

貴会が法人化10期を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。各認定看護師教育課程の修了者の皆さまが、訪問看護認定看護師および在宅ケア認定看護師となり、それぞれの地域で自律的に活動されている姿は大変誇らしく、嬉しく思っております。

今、日本は地域共生社会の実現に向けて動いています。その活動の中心となるのは看護職であり、その中でも地域を良く把握している訪問看護認定看護師、在宅ケア認定看護師は地域において重要な役割を担っています。また看護実践においては高い臨床推論力と病態判断力が求められ、さらにチーム医療の一員として多職種協働する力、地域を俯瞰し課題発見し創造する力など能力の向上は欠かせません。認定看護師の仲間たちで必要な能力を互いに高め合い、発揮していただけることを期待しております。

人生100年時代です。病や障がいがある人々の望む暮らしを支えるスペシャリストとして、いつまでも地域を駆け巡り看護活動を続けていただけることを願っております。

公益社団法人 愛知県看護協会 訪問看護認定看護師教育課程

法人化10期達成、誠におめでとうございます!継続は力なりです。10年で何を成し遂げましたか。「訪問看護アクションプラン 2025」には、「訪問看護の量的拡大」「訪問看護の機能拡大」「訪問看護の質の向上」「地域包括ケアへの対応」の4つの柱がありました。どれについてもこの10年の変化を語る事ができるのではないのでしょうか。頑張りましたね。訪問看護が大好きな皆さまの力があってこそ、訪問看護事業の今があるのだと思います。

では、次の10年を考えましょう。

先日、ソシオエコノミストの波頭亮氏と歴史家の磯田道史氏の対談をみました。AIの急速な発展が、1800年代の産業革命とは比べ物にならない速さで世界を変えるならば、医師の診断や治療の選択は早々にAIが対応可能という未来予測をしていました。学歴も関係ない社会になることも十分考えられます。誰もが調べれば何でも分かるのですから。では生身の人間だからこそその役割は何でしょう。その会談では「明るくポジティブに行動する力」が価値を生み出すと言っていました。今後必要な人間力は「楽天主義」と「身体性」と考えれば、直ちに皆さんの姿がイメージできました。明るく行動する力をお持ちの皆様は、混沌とした世の中にあっても輝くのではないのでしょうか。

いつも本学の修了式にお祝いのメッセージを頂戴し嬉しいです。

1月27日九州ブロック研修会でお目にかかりましょう。

聖路加国際大学 看護リカレント教育部 部長/認定看護師教育課程訪問看護コース責任者
山田 雅子

私たちそれぞれの 活動報告2023

『認定看護師として活動していること取り組んでいること、
大事にしていることは何?』

その問いかけに、会員からたくさんの活動報告が寄せられました。



1位 利用者への支援

Caring



- 今目の前にいる、利用者のその人らしい生き方への支援
- 人として愛のある看護が出来る様に心掛けています
- 大事にしている事は、関わる人を笑顔に
- 1人1人のお気持ちを大事にしながら、何が最善かを他職種でサポートすること
- 看護の基本を大事にする訪問看護に取り組んでいます
- 看護根拠の明確化、日頃の訪問看護で客観的な視点と根拠



2位 普及啓発・地域貢献活動

Community Contribution Activities



- 在宅看護、医療でできることなど地域住民への啓発活動
- 専門職同士。障害の保護者会。行政の相談にのる
- 地域に向けての講習会の開催、地域包括支援センター主催の相談業務、認知症カフェ主催
- 訪問看護活動を分かりやすく市民、多職種へ伝達
- 市民へのACP・看取り教育



3位 人材育成・講義・講演

Education



- 訪問看護師養成研修やOJT研修、入退院支援看護師養成研修に携わる(学生実習を通して等)
- スペシャリストとしてコンサルテーションを行い、在宅分野の内外での後輩育成
- 次世代の訪問看護師を育成することが今の使命
- 訪問看護の魅力を伝えようとしています
- 育成、マニュアル作成、インシデントや医療事故の取りまとめなど

4位 多職種連携・他の訪問看護ステーションとの連携

Cooperation



- 地域の人と繋がり、この街らしい支援体制づくり
- 地域の方や近隣のステーションからの相談や問題解決に向けたお手伝い
- 地域での多職種との連携、地域活動として地域包括や自立支援センターでの会議参加
- 看護小規模多機能型居宅介護を開設し、介護士との連携に力を入れている
- 院内・地域とのつなぎ役となるような活動をしています。地域での在宅看取り、多職種連携

5位 ネットワーク作り

Network Building



- ネットワーク作り。仲間作り
- 仲間とつながる
- つながり
- 人とのかかわり
- 地域のネットワークづくりに取り組んでいきたいです
- 大事にしていることは、仲間です
- 地域のネットワークづくりを行っています

6位 スタッフの育成・運営

Training and Management



- 職員の人生も大切に出来る職場
- 法人の在宅事業の事業把握と連携強化など
- 訪問看護師の育成 ステーション運営
- 相談しやすい環境・気軽に相談できる雰囲気作り
- できるだけスタッフの相談に応じる

7位 さらになる挑戦・スキルアップ

Challenge & Skill up



- 特定行為など新しい取り組みに挑戦
- 学会で発表も質の向上にはかせません
- 認定看護師仲間で看護研究
- 訪問看護認定看護師の協議会や、多方面での学習会に積極的に参加して知識の向上に努める
- 得た学び、失敗も含めた経験に繋げていくこと



各地で活躍
しているね

会員からの声

協議会活動に参加した会員から、たくさんの声が寄せられました。

交流会や研修に参加しての感想

- 交流会や研修に参加させて頂いています。テーマがいつもタイムリーで関心のある内容なので、自施設に戻ってすぐに活用させて頂いています
- ブロック内での研修企画や共同研究、研修参加。ブロック内でも顔が見れたり他愛もない話ができるだけで(リモートでも)、力がよみがえり日々の活力につながっている
- ブロックごとの研修会に参加しました。各ブロックのアイデアがあり学びになっています。他ブロックの研修会に参加できることはとてもありがたいです
- フォローアップ研修は新たな気づきや、自身の振りかえりの機会となっています
- 関東ブロックの「ケアするためのエネルギーチャージ セルフ・コンパッション」で、より良いケアをするためのエネルギー・チャージについて学び、訪問看護師自身が、今よりも幸せで生き生きとした気持ちになれるように自己コントロールの必要性について学びました
- 看取りを考える会 コンサルテーション活動 先輩の認定看護師より、看取りケアの具体的な事例を交えてのスキル、また経営や人材確保のスキルを学び得ることができました
- ブロック研修会に参加している。認定看護師としての活動や実践を学ばせてもらっている。そこで、自身の実践が間違っていないと肯定できたり、他の方の実践を聞いて自身の実践に取り入れたりしている

研修の企画・運営に参加して

- 数年前の「在宅看取りができる訪問看護師養成研修」では、コロナ禍でしたのでオンラインで打合せ・開催などにチャレンジしました。オンラインでの研修実施の経験ができましたし、自分たちで一から企画実施でき、認定看護師として大きな自信になった経験でした
- 訪問看護認定看護師になってすぐに、同期生と共に「ラベンダーの会」立ち上げ、仲間とともに事例検討会や研修会を催してスキルアップを図れたことは認定看護師としての活動の糧になりました
- ブロック会の研修企画運営・在宅看取りを実践できる訪問看護師の育成プロジェクトにもチームに加えて頂き、同じ地域の認定看護師のつながり、困った時などお互いに相談できる仲間がいることはいいなと思います
- ブロック役員として研修企画をしました。ブロック役員としての活動は、ひとりでは到底できないような企画に携わることができました。地域での活動の際の研修企画運営に繋がる経験になっています
- 在宅看取り研修・全国一斉で研修会の企画、運営に携わり、皆の意見を集約しながら進めていく難しさや楽しさを感じながら、やり終えた時の達成感も感じる事ができた。参加者の思いや感想も聞け、研修会が有意義なものになったことを経験、もっと活動の幅を広げていく必要性を感じた
- 在宅看取りの研修での事例発表を行った。それぞれの地域ならではの活動の様子、多職種との連携方法を学び、普段の業務、スタッフからの相談対応に生かすことができている



協議会仲間との繋がり 仲間から受ける刺激

- 頑張っている認定の方々との関わりには刺激を受けました！同時に、器の広く優しい方々に出会い、自分の目指す方向性が見えたかと思えます！
- 地域を超えて、それぞれの現場で活動される皆さんのお話を聞いたり意見交換する事で励まされたり、刺激をいただいています
- ネットワークが簡単にできるのもこの協議会の特徴です。そして、実力がある人ばかりです。本当に、会う人全てが刺激的で影響をいただいています
- 他の方の活動を知ることで刺激を受け、自分もがんばろう！と前向き積極的になります！！
- 地域を超えて様々な管理者とのつながりができ、大変自身の励みになりました
- 交流会では全国で活動する皆様の活躍に私も頑張ろうと力づけられます
- 交流会にも対面参加させていただき刺激を受けておりました。皆さんのお声を聞くことが自分のやる気になっておりました
- 役員の方や共に活動する認定看護師の熱い想いに触れることができ、訪問看護の大変さと魅力を語り合えることが良いと感じた



ぜひ一緒に活動しましょう！

一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会

TEL/03-5778-7008 FAX/03-5778-7009 E-mail/kyogikai@jvnf.or.jp

ホームページ/<https://jvncna.net/>

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5階

公益財団法人日本訪問看護財団内